

平成29年度東備西播定住自立圏構想推進事業「民間イベント等事業推進支援決定一覧」

受付番号	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	赤穂市、上郡町、備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	10月に備前市吉永町B&G海洋センターグラウンドで開催する大会を通じ、2市1町のグラウンド・ゴルフの技術向上や仲間づくりを推進します。また、高齢者の生きがいづくりに貢献します。
	備前市吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	
2	有年の里1日美術館とコンサート	東有年堤防等で花壇等の世話をを行い、春夏秋冬、花が咲き乱れる美しい有年を近隣地域に発信すべく、9月に1日美術館とコンサートを開催します。
	有年の里花いっぱいになあれの会	
3	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	2市1町の囲碁愛好家が連携し、世代間交流の場として12月に赤穂市文化会館において忠臣蔵交流囲碁大会を開催し、毎月1回、赤穂楽基会囲碁サロンにおいて月例ふれあい囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。
	忠臣蔵交流楽基会	
4	戦国武将よろいカブト交流事業2017	圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。
	赤松手作り鎧・兜の会	
5	第4回AKBカップ ミニバスケットボール大会	2市1町の小学生と住民のスポーツを通じた交流を目的に、1月に赤穂市民総合体育館でミニバスケットボール大会を実施します。
	赤穂市バスケットボール協会	
6	プレーパーク赤穂	赤穂城南緑地公園で遊びや工作教室開催し、世代を超えた地域交流の場を作り、子育ての環境の良さをPRし、子育て世代の移住促進を図ります。
	赤穂市地域活動連絡協議会	
7 新規	AKBミュージックフェス2017	音楽ジャンル、ミュージシャンなど個性や地域色を生かし、子どもから大人まで楽しみながら、2市1町の住民が連携と協調、協力しながら手作りの音楽イベントを運営開催する。
	東備西播音楽振興協議会	
8	史跡探訪会(備前播磨国境標石等の史跡探訪会)	5月及び11月に史跡探訪会を開催し、歴史文化遺産の情報を圏域内住民へ発信し、普及啓発に努めます。
	東備西播定住自立圏域史跡探訪会	
9	『～懐かしの昭和の風景～ 渡部美智子創作人形展』	5月に人形を展示し、昔懐かしい農村風景、昭和の時代、家族のふれあい等を伝え、圏域内外の住民の交流促進、まちの賑わい、地域文化の創出につなげます。
	地域文化再発見実行委員会	
10	第6回赤穂街コン！はじめよう恋活！	12月に赤穂市内において地域特産品(牡蠣等)が食べられる屋台を設置し、交流事業を実施することで、若年男女の出会いの場を提供し、圏域内の少子化対策、定住対策につなげます。
	赤穂街コン実行委員会	
11 新規	忠臣蔵子ども将棋大会及び子ども将棋教室の実施	日本の伝統文化である将棋を通じて、東備西播地域の活性化を図り、青少年の育成や子育て支援、年代を超えた交流に貢献します。
	忠臣蔵子ども将棋大会実行委員会	
12	上郡駅伝競走小学生大会	1月に開催する大会内で、東備西播定住自立圏域の認知度向上に努め、地域の競技普及・振興、競技力向上に寄与します。
	赤穂郡陸上競技協会	
13 新規	魅力発信！MAZEKOZE AKOマルシェ	飲食店やまちづくり団体等と連携し、食・体験・ワークショップを中心としたマルシェを開催する事で、地域の魅力を発信し、また、障がい者の方と普段接する機会が無い方へ、障がい者の方への理解を深めて頂きます。
	MAZEKOZEAKO実行委員会	
14	東備西播テニス交流大会	2市1町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、7月に備前市日生運動公園でテニス教室及びテニス大会を実施します。
	赤穂市テニス協会(備前市テニス協会)	
15	上郡ダンスフェスティバル ～K・D・F～	10月に、上郡町B&Gスポーツセンターサブグラウンドにおいて、近隣のダンスチームによるヒップホップダンスの披露等と、農作物や伝統芸能などの地域資源をPRするイベントを実施します。
	特定非営利活動法人 円心	

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	活動名	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会
-----	----------------	-----	-------------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 備前市吉永町吉永中B & G海洋センター グラウンド	② 実施期間 自 平成 29 年 10 月 18 日 至 平成 29 年 10 月 18 日
③ 実施体制 ・団体構成員 29 名 ・一般参加者 284 名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 313 名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 平成 29 年 2 月 25 日に赤穂市・上郡町・備前市 (備前地区、日生) の連盟会長と第 2 回大会について電話による協議を行いました。 開催日、開催場所、参加人数等の了解が得られたので、それぞれの会長に同年 3 月 2 日に文書による案内をした。 同年 8 月 1 日に、開催要項、大会申込書をそれぞれの会長に送付し、募集をした。 参加目標を、赤穂市が 100 人、上郡町を 50 人、備前市を 150 人とした。 同年 10 月 18 日に、当初予定していた参加人数を若干上回り、313 人の参加の基、8 ホール×3 ゲーム 24 ホールストロークプレーを実施した。 表彰については、1 位～15 位及び 15 位タイ賞を授与した。その他に抽選でラッキー賞及び参加賞を全員に授与した。 ホールインワン賞も授与しましたが、100 円のホールインワン基金を頂き、基金の合計額を岡山県グラウンド・ゴルフ協会に送金した。 大会終了時間は、14 時 15 分でした。 来賓は、備前市副市長様、岡山県議会議員様にお越しいただき、ご挨拶がありました。 添付資料は、プログラム・成績表を添付しますのでご参照を下さい。	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

大会要項に掲げている趣旨の通り、生涯スポーツの普及が十分に図られた。

そして、大会の所期目的は十分達成することが出来ました。

大会を通じて技術向上も図られ、3地区の参加者相互の親睦と交流が充分図られ、大きな成果があった大会となりました。

② 今後の課題

備前市グランド・ゴルフ主催・吉永GG連盟主管にて、第1回、2回大会とも、吉永町の地で開催するに至りましたが、これは、グラウンド状態、広さ、駐車場、大会経験を勘案したもので、次回については、本大会終了後に各会長が集まり、協議した結果、大会の継続が重要であり、特に開催を希望される連盟を優先して実施する事となりました。来年度の開催募集時期が来たら、再度、各連盟が集まり協議して決定する事となった。

3 実施事業の写真



写真のコメント

南会式テント前

写真のコメント



写真のコメント

南会式整列

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

3 実施事業の写真



写真のコメント

アレー中

写真のコメント



写真のコメント

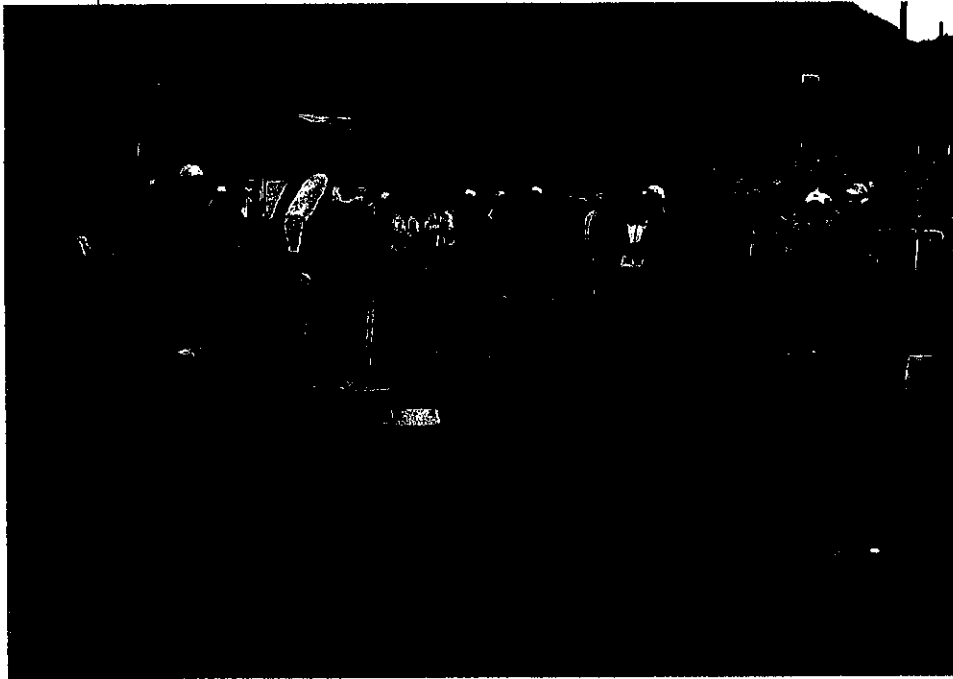
アレー中

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

3 実施事業の写真

写真のコメント



閉会式整列

写真のコメント



表彰式賞品授与

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料(500円×31 3人)	156,500円	*優勝・2位・3位入賞 者向けトロフィー代	17,702円 ①
ホールインワン基金	11,900円	*優勝・2位・3位入賞 者賞品代	5,500円 ②
行政からの助成金	198,000円	*4位～15位・同打賞 等の賞品代	140,700円 ③
		*1日傷害保険料	5,947円 ④
		郵送料	2,099円 ⑤
		*プログラム他コピー 代	7,120円 ⑥
		*コピー用紙代	321円 ⑦
		*大会用備品代	7,872円 ⑧
		*大会準備時等お茶代	3,692円 ⑨
		岡山県協会へのホール インワン基金の送金	11,900円 ⑩
		*プリンターインク代	2,047円 ⑪
		*事務費	5,000円 ⑫
		参加者弁当代	156,500円 ⑬
合 計	366,400円	合 計	366,400円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

団体名	有年の里花いっぱいになあれの会	活動名	有年の里旧美術館、コンサート
-----	-----------------	-----	----------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間
赤穂市東有年144-1を中心にした地域	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
③ 実施体制	
・団体構成員 15名 ・一般参加者 49名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 64名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
(1) 東有年堤防花壇の世話 <ul style="list-style-type: none"> ・5月末 マリーゴールドを植える。 ・6月末 土手の草刈り、草抜き。 ・7月～9月、草刈り。 	
(2) 7月16日(日) 3市町の子どものための交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・コスモスの種まき、 ・遺跡で遊ぶ。 ・参加者24名(備前市6名、上郡町12名、赤穂市6名) 	
(3) 9月23日(土) 旧美術館とコンサート <ul style="list-style-type: none"> ・沖田遺跡21年目に当り「遺跡の風」をテーマに写真展 ガラス展 ・テーマにそって、コンサート。(ピアノ)とチェロ) ・参加者64名(赤穂31名、上郡19名、備前2名、竜野5、相生2名、姫路4名、西宮1名) 	
(4) 10月上旬、有年幼稚園児、コスモス田に遊びに来る予定	
(5) 10月下旬、交流会に参加児童がコスモスを摘みに来る予定	

2 事業実施の成果と今後の課題

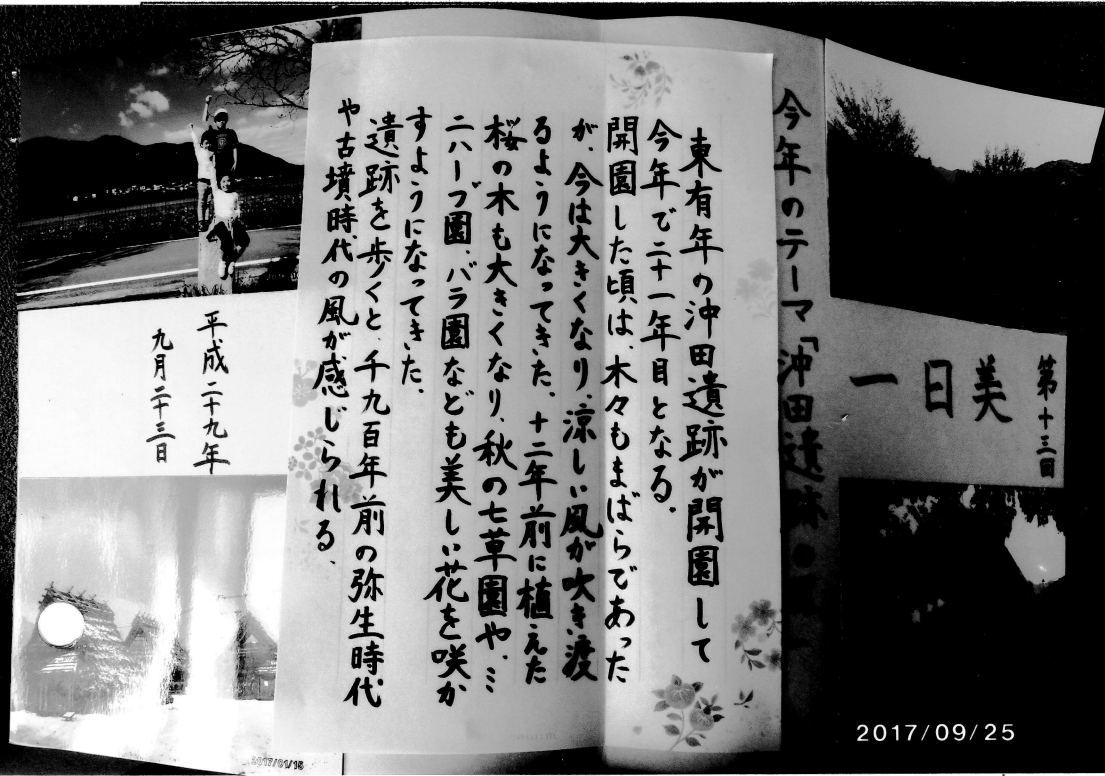
① 事業実施の成果

- 旧美に向けて、有年を花いっはいの美しい里にしようと、取り組んで13年目、地域にホイ捨てがなくなり、ずい分、美しい土手や地域となってきた、うれしく思っている。
- 才1段としての、子どもたちの交流会では、備前市から6名の参加があり、うれしかった。また21年目を迎える沖田遺跡の話をみんなが聞いてくれ、自然の中で24名の参加者が楽しく遊ぶことができた。この思い出は、大人になっても、心に残り、定住自立へ生きていくと思う。
- 才2段としての、旧美とコンサートでは、遺跡の春夏秋冬のすばらしい里を味わってもらうための写真展と遺跡の風が感じられるコンサートと「花さき山」の読み語りをした。ひかん花、コスモスのゆれるさわやかな風を感じながら聴くピアノとチェロの響きは言われた人々に感動を与えたようである。私も涙が出そうになったコンサートであった。美しい花咲く自然の中でのコンサートは、みんなを元気にし、いろいろな地域の人に有年のよさを発信できてよかった。(参加者64名)

② 今後の課題

- 美しい里をめざしているが、美しい千種川の川河敷が荒れた状態になっているので、早く整備をして欲しい。急な大雨の時は、とても心配である。
- 子どもたちの交流会では、今年は、有年小の子どもたちの参加が少なくて残念だったが、少女バレーの試合と重なっていたためと思われる。種をまく日を7月に入ってすぐぐらにするといいいのかなーと考えている。
- 備前市の方々の参加を増やすため、私が備前市の行事にできるだけ参加して、来年への参加を呼びかけたい。今年の灯をスタへ参加を呼びかけるちらしは配ったが、夜ということメンバーのみなさんは行くことがむずかしかったようである。

3 実施事業の写真



真のコメント

9月23日、段々として
一日美の展示よ、
今年のテーマ
による沖田遺
跡21年目を記
念しての写真展
真のコメント
をする。春の桜
夏のそよぐ風、
秋のコスモス、



冬の雪景色
のワイド4つ
切りの写真や
四季を表現す
るガラスも展
示して、沖田遺
跡の風が感
じられるよう
に飾った。
(写真33点、
ガラス70点以上)

3 実施事業の写真

写真のコメント

7月16日に東備西播
 定住自立圏構想推
 進事業の第1段として
 三市町の子どもたち
 による交流会をする^{予定}みんな
 までコスモスの種まきをする。

写真のコメント

(子どもたちだけで記念写真)

その後、みんなで沖田
 遺跡でおにごっこや
 コムとび、水遊びを
 する。水遊びは大喜
 びで、みんなびしょぬれ
 になる。(あとから3名の参加)

写真のコメント

(備前市から6名
 上郡町から12名
 赤穂市は6名)
 で計24名の参加
 とも楽しい交流会となった。

ください。
 ください。)





真のコメント

9月23日、午
後からのコンサート
(第11回目)
ピアノ、2人で
チェロの演奏
をする。

真のコメント

ピアノと絵本
の読み語り
「花さき山」
のライブとな
る。



真のコメント

部屋と庭で
64名の参加者
を得て、みなさん
に喜んでいただ



けた。赤穂31
上郡19
備前 2
竜野 5
相生 2
姫路 4
西宮 1

計64名

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
支援金	142,000	(1) コスモス種代	9,720 *
会より	34,176	(2) 用紙・文具	3,123 *
		(3) 写真代	15,133 *
		(4) ヒアノ調律代	16,200 *
		(5) ヒアノ演奏料	5,000 *
		チェロ演奏料	40,000 *
		ヒアノ演奏料	10,000 *
		(6) 記念品代(4名)	20,000 *
		(7) 花束代(4名)	12,000 *
合 計	176,176	合 計	176,176

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

団体名	忠臣蔵交流楽碁会	活動名	忠臣蔵交流囲碁大会及び こども囲碁教室の開催
-----	----------	-----	---------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域)	② 実施期間 (開催準備期間を含む)
忠臣蔵交流囲碁大会 予選大会 赤穂市文化会館 小ホール、学習室 決勝大会 赤穂市文化会館 学習室	忠臣蔵交流囲碁大会 平成 29 年 5 月 1 日より準備に着手 囲碁大会 平成 29 年 12 月 2 日開催
こども囲碁教室 赤穂楽碁会囲碁サロン及び赤穂市中央公民館	こども囲碁教室 平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月 毎週日曜日 (ただし第 2 日曜日は除く)

③ 実施体制
忠臣蔵交流囲碁大会 実行委員 23 名、他 10 名 (ボランティア)
こども囲碁教室 講師 9 名

④ 事業実績と成果

1) 忠臣蔵交流囲碁大会

平成 29 年 5 月、赤穂市、上郡町、備前市の囲碁クラブより大会実行委員 23 名を選出し、2 市 1 町の共同推進体制と役割分担を決め準備活動を開始した。

12 月 2 日の大会参加者は役員等大会運営担当者を除いて、Aクラス(5 段以上)48 名、Bクラス(2 段～4 段)70 名、Cクラス(初段, 1 級～4 級)54 名、Dクラス(5 級以下)23 名 合計 195 名と過去最多であった。

今年も当大会が NHK の日曜囲碁番組で紹介された。

そのおかげで、西は九州から 3 名、東は関東から 2 名観光を兼ねた参加者があり、今後更に参加者の全国的な広がりが期待できる。

年齢的にも上は 90 歳、下は幼稚園児まで老若男女が終日囲碁交流対局を楽しんだ。

また関西棋院の新垣九段、林六段に審判と指導対局をお願いし、参加者から大変好評であった。

日本の伝統文化である囲碁を通じて地域間交流、世代間交流を活発にし、東備西播地区の活性化に貢献することを目標として当大会も八回を重ねてきた。

当大会の名前は、定住自立圏構想の 2 市 1 町(赤穂市、備前市、上郡町)のみならず他地域にも広がり参加者も着実に増えてきている。

大会開催に当たっては多数の地元企業、商店、旅館、漁業組合から協賛品を頂戴し大会を盛上げて頂いた。

2) こども囲碁教室 (次世代のこどもと父兄およびシルバー世代へ囲碁入門講座開催)

29 年度こども囲碁教室は平成 29 年 5 月 7 日より、第 2 日曜日を除く毎週日曜日 10 時～11 時 30 分赤穂市中央公民館にて平成 30 年 4 月 22 日までの予定で開催中。

園児及び低学年は、父兄も一緒に受講をお願いしている (参加者こども 10 人、父兄 4 人)

また次世代のこどもに囲碁の面白さを PR するために、花岳寺通り商店街の土曜夜店に参加し、夕方 6 時より楽碁会囲碁サロンを開放し、囲碁を知らない子に、碁石を使ったゲームで楽しんでもらった。

今年、子ども教室出身者から 1 名プロ棋士が誕生し、さらに続いてプロを目指すレベルの子どもが出てきている。

第八回忠臣蔵交流囲碁大会支出明細

費目	使途内容	金額(円)	使途内容	金額(円)	備考	領収書No
謝金	事業協力謝礼	10,000	大石神社	10,000	大石神社初穂料	1-1
	子ども教室講師謝金	105,000	子供教室講師謝金	100,800	講師謝金(126回)	1-2~1-10
	(小計)	115,000		110,800		
用品	事務用品	10,000	ハガキ用紙	648	ダイナー	2-1
			ゴミ袋他	1,404	"	2-2
			名札用紙	1,512	"	2-3
			カッター	324	"	2-4
			ペーパーバッグ他	648	Seria	2-5
			ペーパーバッグ	216	"	2-6
			対局時計用電池	3,198	AgroGarden	2-7
			"	2,369	"	2-8
			テープ 他	428	"	2-9
			義士ハッピークレーニング	4,698	ハトヤ	2-10
			パソコンインク	9,169	ヤマダ電機	2-11
			"	6,598	"	2-12
			"	13,717	"	2-13
			"	11,134	"	2-14
通信費	(小計)	30,000		56,063		
	事務連絡用	30,000	募集案内ハガキ	22,320	日本郵便 往復ハガキ	3-1
	(小計)	30,000		22,320		
会場費	会場借用費	80,000	会場借用費(含超過時間使用料)	73,410	赤穂市文化会館(小ホール、学習室)	4-1
	会場付属設備		付属設備使用料	19,348	赤穂市文化会館	4-2
	対局設備借用費(運搬費含)	80,000	碁盤、碁石 100セット、対局時計50セット	67,400	関西棋院(碁盤、碁石、時計、運搬費)	4-3
	会場設置費	10,000	看板ポスター、組合わせ表他	10,000	藤友建設設計事務所	4-4
	(小計)	170,000		170,158		
委託費	審判(2名)	100,000	審判委託費(2名)	80,000	旅費交通費を含む	5-1,5-2
		10,000	審判宿泊費	9,200	ホテル浦島	5-3
	指導対局謝礼		プロ棋士指導対局	20,000		5-4,5-5
	(小計)	110,000		109,200		
	補助対象費目合計	455,000		468,541		
その他	屋敷費	75,000	屋敷費(予選)	75,632	主婦の店(235食X¥298)X消費税(8%)	9-1
補助	決勝夕食費	20,000	夕食費(決勝)	18,500	惣菜四七(37食X¥500)消費税込	9-2
非対象	大会打上げ費	20,000	大会打上	5,270	尼崎商店(ビール他)	9-3
	謝礼他	15,000	協賛御礼品	3,000	大黒屋(菓子)	9-4
				1,280	スシマス	9-5
				864	山野製菓舗	9-6
				1,522	かん川本舗	9-7
				7,500	三島製菓	9-8
	大会賞品	0	塩味饅頭			
	補助非対象費目合計	130,000		113,568		
合計	事業総合計	585,000		582,109		

添付書類 イベント等事業実績報告

団体名	赤松手づくり鎧. 兜の会	活動名	戦国武将よろいカブト交流事業2017
-----	--------------	-----	--------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 町立赤松公民館・旧岩木幼稚園他	② 実施期間 自 平成29年5月6日 至 平成29年12月14日
③ 実施体制 団体構成員 赤松手づくり鎧、兜の会講師10名 募集参加者20名 合計30名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業)	
5月 6日 (土) 講座開講式 説明会型取り	
13日 (土) 兜 (型紙パーツの切り出し)	
23日 (火) 兜 (鉢づくり)	
6月 3日 (土) 兜 (布補強ニス及ペンキ)	
10日 (土) 兜 (飾り布張り付け)	
27日 (火) 兜 (組立)	
7月 1日 (土) 鎧 (胴組立)	
8日 (土) 鎧 (胴布補強)	
25日 (火) 鎧 (胴布補強ニス・ペンキ)	
8月 5日 (土) 鎧 (胴飾り布張り付け)	
12日 (土) 鎧 (胴組立)	
22日 (火) 袖づくり	
9月 2日 (土) 草づくり	
9日 (土) 袖・草づくり (布補強ニス・ペンキ)	
26日 (火) 袖・草づくり (飾り布張り付け)	
10月 7日 (土) 紐通し	
14日 (土) 草づくりと胴の組み合わせ	
24日 (火) 仕上げ	
11月 4日 (土) 仕上げ	
11日 (土) 仕上げ	
⑤ イベント参加報告	
4月29日 (土) 西播磨ふるさと特産館GW特別イベント出展	
5月14日 (日) 備前片上チョイヤサー2017参加	
5月21日 (日) 神戸まつり参加	
10月 8日 (日) 関西ラジオまつり参加	

- 10月20日(金) 上郡幼稚園着付け体験
- 21日(土) 神戸学院生との交流会
- 22日(日) 姫路市置塩城まつり(夢前町)(台風で中止)
- 28日(土) 西播磨フェスティバル参加
- 11月12日(日) 上郡町商工会まつり参加
- 23日(水) 第24回 白旗城まつり参加(備前市・夢前町・山崎町)
- 12月14日(水) 第114回赤穂義士祭パレード参加(赤穂市)

⑥ 出前講習会

備前市市民センター「手づくり兜で戦国武将になる」6回

子ども10名 大人3名

7月16日(日)・23日(日)・29日(土)

8月 5日(土)・13日(日)・26日(土)

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

圏域の歴史資源の発掘と魅力発信の素材として,[和気郡史]で現在の伊里中の裏山深くに「浄光寺」があります。本堂には赤松円心公の守り本尊・一尺丈の阿弥陀如来木像が安置されていて赤松円心にも関係がありました。

そこで備前市との交流で、5月14日(日)に開催された片上チョイヤサー2017 30名参加しました。

備前市市民センター「手づくり兜で戦国武将になる」事業を計画したところ13名親子さんが参加され、親子で兜づくりの交流の機会、思い出作りができました。

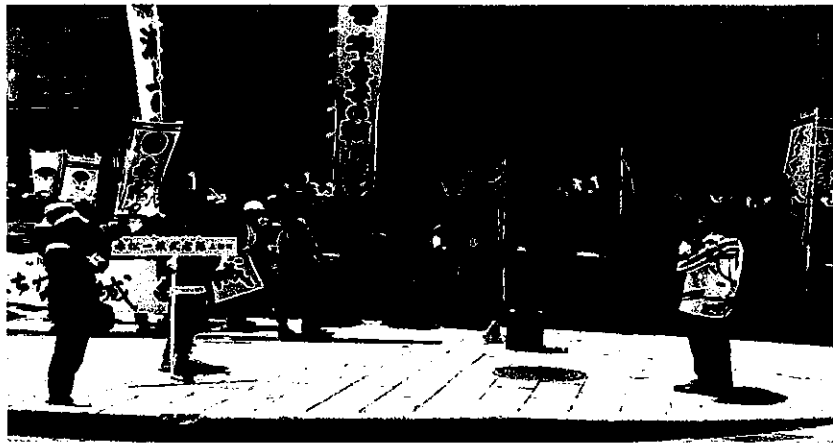
夏休み以外でも作ってみたいと思われた方が工房教室にこられるようになりました。

赤穂市の第114回赤穂義士祭パレードでは60名の参加と子供武将には、赤穂市の幼稚園児・小学生児童と保護者も武将に変身して参加してくださいました。

実施事業の写真



写真のコメント
5月14日
片上チョイヤサー
2017



実施事業の写真



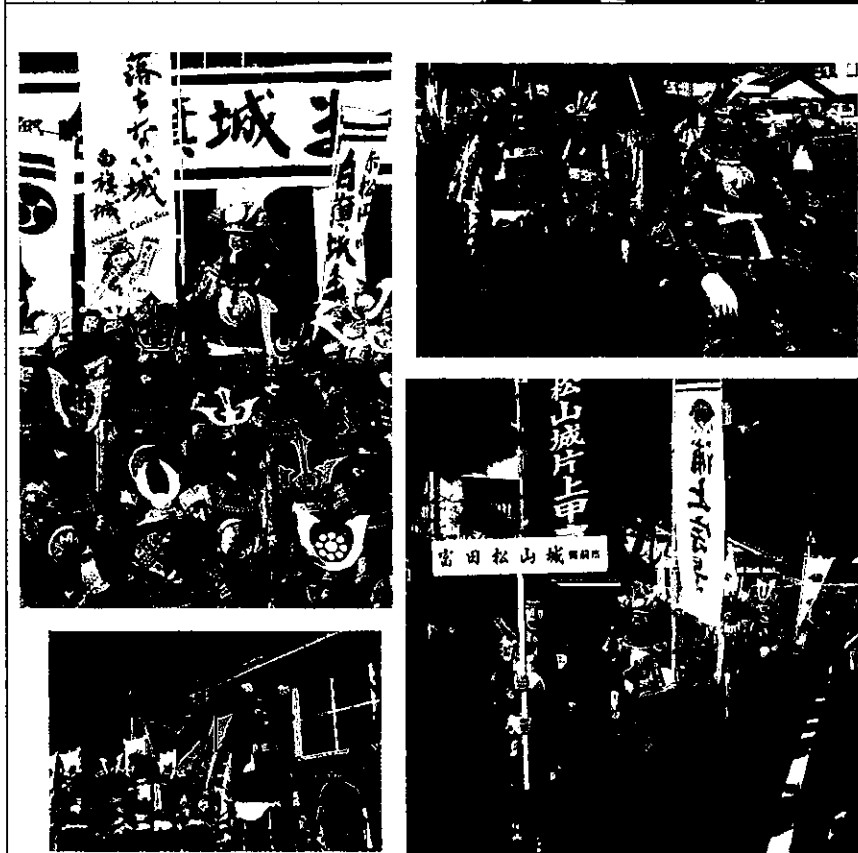
写真のコメント
7月16日から
8月26日
備前市市民センター
「手づくり兜で戦国
武将になる」



11月23日
第24回
「白旗城まつり」



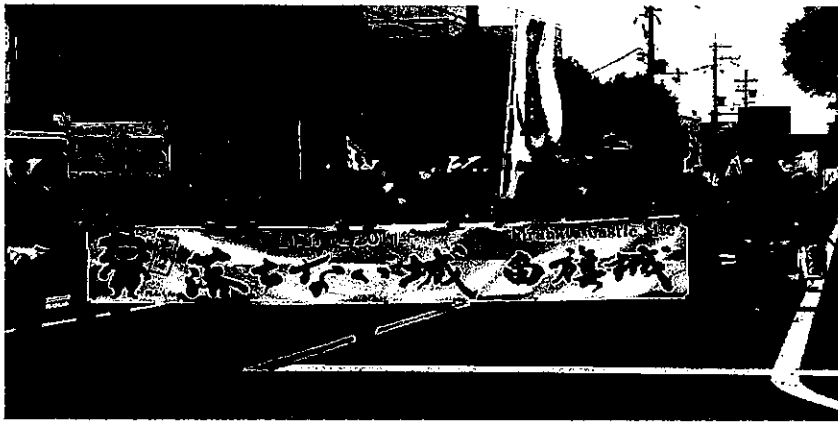
「白旗城まつり」



11月23日
 「白旗城まつり」
 備中富田松山城
 備前市市長挨拶

3

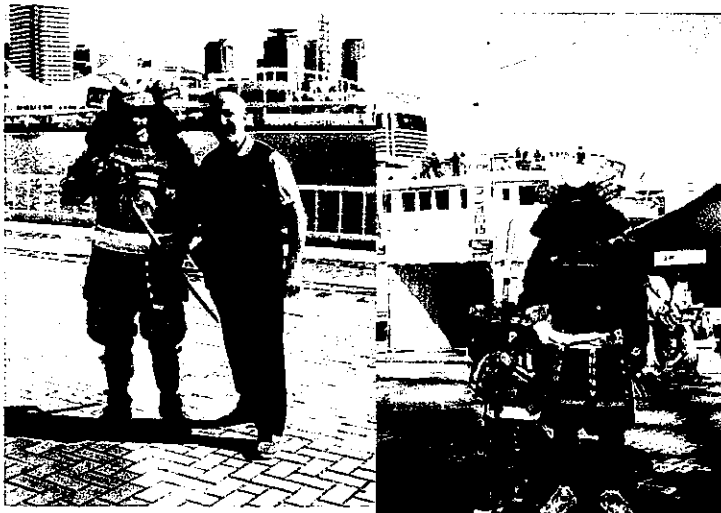
実施事業の写真



写真のコメント
12月14日
第114回
「赤穂義士祭」



写真のコメント
赤穂市の小学生が参加していただきました。



ラジ関まつり
神戸ハーバーランド

平成29年度 東備西播定住自立圏民間イベント事業会計報告

収 入

支援金交付決定額 146,000円

合 計 146,000円

支 出

(円)

月・日	内 容	金 額	支払先	領収NO
5月16日	平紐14,364 振込手数料540	14,904	中戸川	1
5月20日	プリンターインク	10,270	ヤマダ電機	2
5月24日	塩ビ板	1,950	ホームセンタームサシ	3
5月27日	つや出しニス・ラッカースプレー	8,099	ナフコ	4
6月5日	黒木綿糸・無地キルト布他	3,834	トーカイ	5
6月13日	厚紙50枚	9,450	ヤマミチ印刷	6
6月17日	つや出しニス	2,528	ナフコ	7
6月23日	カシメ代	6,296	アークオアシス	8
7月1日	角元@300×30 パイプ@100×30	12,000	中西邦明	9
7月8日	ペンキ代	7,402	ナフコ	10
7月10日	パネロン芯	864	トーカイ	11
7月11日	平紐・丸紐 13,575 振込手数料540	14,115	中戸川	12
7月12日	ペンキ代	1,620	アグロ	13
8月10日	丸紐代9,072 振込手数料540	9,612	中戸川	14
8月22日	平紐代 27,324 振込手数料540	27,864	中戸川	15
8月29日	平紐代 18,414 振込手数料540	18,954	中戸川	16
8月28日	パネロン芯 亜麻ひも	2,683	トーカイ	17
10月5日	平紐 14,364 振込手数料540	14,904	中戸川	18
	合 計	167,349		

合 計

167,349円

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市バスケットボール協会	活動名	第4回AKBカップバスケットボール大会
-----	---------------	-----	---------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市民総合体育館	② 実施期間 自 平成30年1月27日 至 平成30年1月28日
③ 実施体制 ・団体構成員 10名 ・一般の部参加者 40名 ・中学の部参加者 50名 ・ミニの部参加者 70名 ・ 名 計 170名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 平成29年11月 実施要項作成、送付 12月 組み合わせ抽選 審判振り分け 平成30年 1月26日 コート作成、スタッフミーティング 1月27日 大会実施 一般・中学生の部 1月28日 大会実施 ミニバスケットボール（小学生）	

2 事業実施の成果と今後の課題

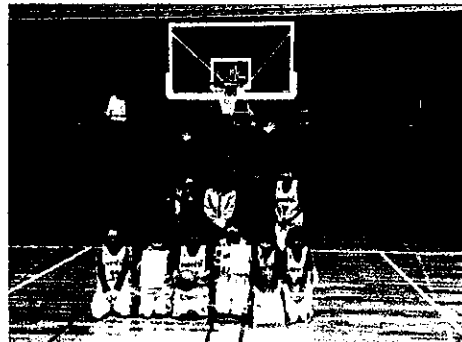
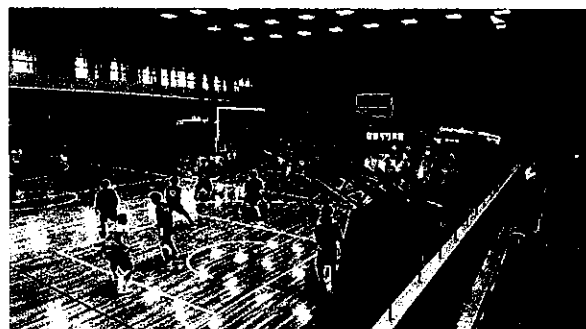
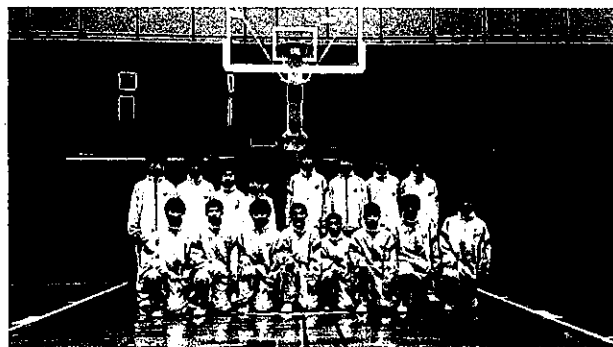
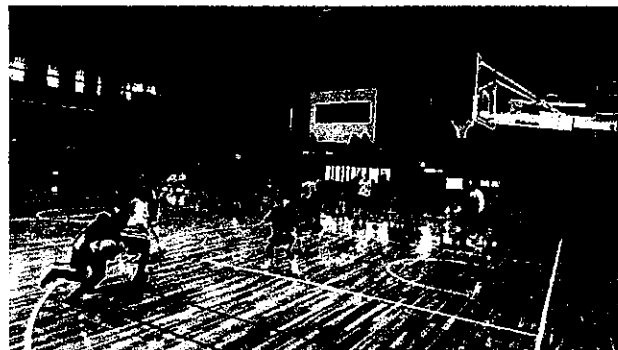
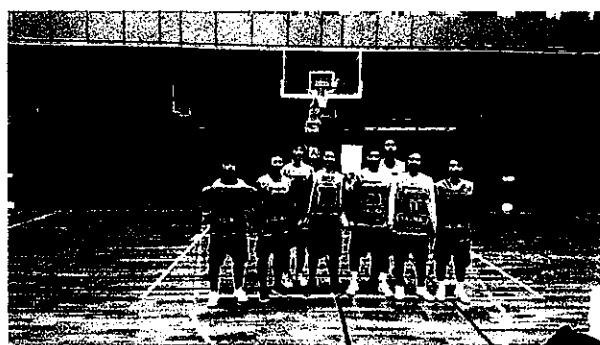
① 事業実施の成果

今回より中学生男子、高校一般男子の2部門を新たに実施し参加人数が大幅に増加した。ミニの部門では実施が4回目で、AKBカップが年間の行事として定着している。

② 今後の課題

- ① 一般の部及び中学生の部に女子のカテゴリーが無い
- ② 東備西播定住自立圏民間イベントとしては次年度が最終年度を迎える中で、収支上の懸念等大会の存続に向けて様々な工夫が必要と考える。

3 実施事業の写真



(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
補助金	191,472	体育館使用料① (1/27, 1/28)	38,200
		景品、トロフィー②	11,856
		ボール③	9,325
		賞状④	925
		参加賞⑤	4,145
		参加賞⑥	1,699
		参加賞⑦	1,620
		参加賞⑧	216
		参加賞⑨	1,960
		参加賞⑩	526
		審判昼食代 (1/27) ⑪	15,000
		審判料(1/27)⑫	44,000
		審判昼食代 (1/28) ⑬	18,000
		審判料 (1/28) ⑭	44,000
合 計	191,472	合 計	191,472

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市地域活動連絡協議会	活動名	プレーパーク赤穂
-----	--------------	-----	----------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市他	② 実施期間 自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 1 月 31 日
③ 実施体制 ・団体構成員 5 名 ・一般参加者 340 名 ・ボランティア 30 名 ・ _____ 名 ・ _____ 名 計 375 名	

④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）

	開催日（曜日）	開催時間	利用者数						
			常 設			出 前			
			幼・小	そ の 他	計	幼・小	そ の 他	計	
1	4月30日	13時～16時	35	20	55			0	城南緑地公園
2	5月5日	11時～14時			0	30	4	34	こどもの館
3	5月28日	13時～16時	39	16	55			0	城南緑地公園
4	6月18日	13時～16時	37	12	49			0	城南緑地公園
5	7月23日	13時～16時	27	10	37			0	城南緑地公園
6	9月23日	9時～12時			0	86	10	96	赤穂消防本部
7	10月2日								雨天中止
8	10月22日								雨天中止
9	11月5日	10時～13時			0	70	29	99	赤穂海浜公園
10	11月18日	11時～15時			0	45	1	46	赤穂市民会館
11	12月17日	15時～18時			0	25	1	26	上郡東蔵
12	12月23日	11時～16時			0	35	4	39	こどもの館

4月～7月 城南緑地公園にて常設

5月5日 こどもの館（姫路）にて開催

9月23日 防災フェスタにて開催

11月5日 オレンジリボンキャンペーン（児童虐待防止キャンペーンにて開催）

11月18日 児童館フェスタに参加

12月17日 上郡東蔵にてクリスマスイベント参加

12月23日 こどもの館 クリスマスイベント参加

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

赤穂城南緑地公園で「自分の責任で自由に遊ぶ」プレーパークを開催しました。

- ・段ボール遊び ・木工遊び ・木の実の工作・シャボン玉・ロープ遊び ・土遊び
- ・ハンモック遊び

世代を超えた地域の交流の場作り、子どもだけでなく大人も子どもと一緒に遊んだり、子どもたちの自主性を重んじる遊びがたくさんできました。

関西福祉大学とも連携し、大学生ボランティアの育成もできました。

9月には赤穂消防本部・関西福祉大学と協働で、「防災フェスタ」を開催。

体験ブース：家庭にあるもので防災グッズを作る（新聞紙でスリッパ・ナイロンとタオルで紙おむつの代用品・簡易担架）防災士の会によるロープワーク・防災ビンゴ

赤穂義士ライダー（赤穂のご当地ヒーロー）による「防災教室」

消火器水鉄砲で消火活動（的あてゲーム）豪雨体験（合羽着用で、豪雨を体験）

段ボール椅子の制作・大学生による「アルファ米 50人分」の炊き出し体験

煙体験・消防本部による映画上映

子どもたちや、子育て世代の家族で防災についての知識を学ぶことのできるブースや災害の疑似体験によって、防災に関する知識を体で習得でき、防災の大切さを感じてもらえた。災害時には地域のつながりが一番大切なことから、子育て世代、子どもにも地域の防災活動にも参加してもらい、地域のつながりを作ることができた。

消防本部と関西福祉大学の学生ボランティアと協働で開催することで、地域の連携を図ることができた。

防災士の会による段ボール椅子のレクチャーを大学生に行い連携をとることができた。

参加者からは、とても良い事業だったとの感想をいただき良かったと思う。

紙おむつの代用は、赤ちゃんのいるお母さんたちは真剣に体験されていて、段ボールの椅子もたくさんの親子が作ってくれた。炊き出しは、大学生、消防にとっても良い体験になった。防災に対する意識が高まったように思う。

11月には、海浜公園でオレンジリボンキャンペーンでプレーパークを開催。

② 今後の課題



夏場は運営しやすいが、冬場が寒いので場所等検討したい。
 子育て支援として、防災の意識を高める活動を引き続き続けていきたい。
 もう少し小規模で「城南緑地公園」で訓練を中心とした事業として継続していきたい。
 上郡にはイベントに参加させていただき良かった。
 常設のプレーパークには、備前・日生からの参加もあった。
 また、移住予定の方からも、プレーパークがあるのはとても興味があるといわれ
 よい活動だと思う。
 ボランティアの確保や準備、資金面でかなり大変ではあるが
 多くの方が楽しみにしてくれていることもあるので大学とも連携しながら続けていきたい。

3 実施事業の写真



写真のコメント

大学生ボランティア

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>人気の木工</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>防災フェスタ</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
助成金	200,000	講師料 ①	50,000※
自己資金	25,736	印刷費 ②	12,801※
		郵送費 ③	2,512※
		保険料 ④	14,500※
		警備委託費 ⑤	13,553※
		制作費 ⑥	90,000※
		備品費 ⑦	42,120※
		使用料 ⑧	250※
合 計	225,736	合 計	225,736

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	東備西播音楽振興協議会	活動名	AKBミュージックフェス 2017
-----	-------------	-----	-------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 兵庫県上郡町上郡 825 ギャラリーひがし蔵	②実施期間 自 平成 29 年 11 月 19 日 至 平成 29 年 11 月 19 日
③ 実施体制 ・団体構成員 17 名 ・一般参加者 10 名 ・ボランティア 10 名 ・ _____ 名 ・ _____ 名 計 37 名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) ★実行委員会 (月例) 5月、6月、7月、8月、9月、10月 企画打ち合わせ会議実施 ★準備作業 出演者選定作業、メインゲスト招聘作業、PR活動、会場設営整備作業 上郡校区まちづくり推進委員会との連絡会議 ★東備西播定住自立圏地域活性化交流イベント★ AKB ミュージックフェス 2017 日時：2017年11月19日(日) 11:00~17:00 場所：ギャラリーひがし蔵 ※入場無料 住所：兵庫県上郡町上郡 825 番地 主催：東備西播音楽振興協議会 協賛：上郡校区まちづくり推進委員会	

2 事業実施の成果と今後の課題

①事業実施の成果

東備西播地区（備前市、赤穂市、上郡町）活動拠点から2組ずつ合計6ユニットと神戸からプロミュージシャンを招へいし、地域色豊かな音楽演奏会となりました。

（観覧&来場者実績）

来場者数はおよそ500人。

子供～高齢者まで幅広い世代に楽しんでいただきました。

圏域外の西播地区、岡山市内からの来場者も多数見受けられました。

イベントが集中する11月開催ではありましたが、まずまずの集客数でありました。

圏域間交流促進と地域活性化に一定の成果が得られたように思われます。

（PR活動実績）

ツイッター、FACEBOOK、おかやま tiki ナビ等、SNSからの情報発信
山陽新聞からのイベント取材、11月14日朝刊に大きく掲載。

山陽新聞デジタル版 11月14日

神戸新聞 11月18日版にイベント情報掲載

（共催イベント/ひがし蔵市）

上記音楽イベントの開催された「ひがし蔵」敷地内で並行開催でありました。

こちらのテナントブースにも東備西播地区からの多くの出店者が参加し、地域食豊かなフリーマーケットとなりました。

② 今後の課題

東備西播音楽振興協議会として、はじめての3地区協働のイベント開催でありました。

協議会スタッフ17名と多くのボランティアの方が準備活動、PR広報活動、運営等に携わり、実施しましたが、初開催であったにもかかわらず、事前に計画した活動スケジュールのとおり、準備活動～開催運営まで、概ねトラブル等もなく終わることが出来ました。

まだまだ、細部において改善すべきところが多々あるかと思いますが、

本イベントを継続していくなかで改善されていくことと思っております。

（今後の課題）

大きなイベントを企画運営していくためには、スタッフ、協力者、ボランティアの数が多すぎることはありません。

各地区において、運営企画に参画して頂ける会員数&協力者の増加を図りながら、大衆音楽を通じた地域交流&活性化活動により、東備西播地区を元気にしていきたいと思っております。

3 実施事業の写真

写真



備前 つばめセッションズ

写真のコメント

岡山県備前市三石地区にある、「三石つばめハウス」で毎月第三土曜日に開催「FREE SESSION ACOUSTIC NIGHT」のメンバーで構成。演奏メンバーは毎回変わるセッション形態。一期一会のインプロビゼーションの醍醐味を奏でる。

写真のコメント

昭和40年生まれの同級生仲間でそれぞれがソロの弾き語りミュージシャンとして、赤穂、東播活動している。



赤穂 ZOO

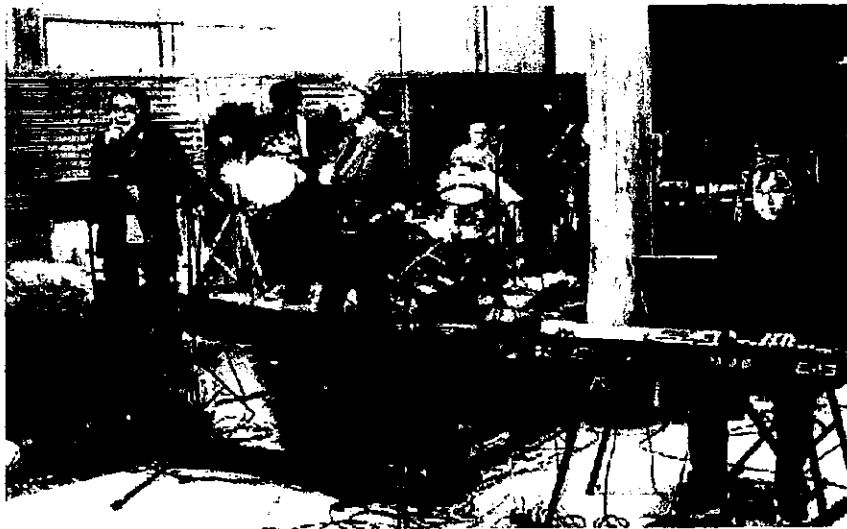
写真のコメント

岡山県備前市伊部地区備前中学校の同級生で結成。活動歴40数年の年季の入ったオヤジハードロック/サウンドは圧巻。数年後に還暦を迎えようとしている現在も衰えを全く見せる気配がない。



備前 BAZU

4 参考資料を自由に添付してください。



上郡 三原楽団

写真のコメント
バンドメンバーは上郡町
商工会職員の平井氏を中
心として西播地区のミュ
ージシャンで構成。活発に
西播地区で定期的にライ
ブ演奏を行っている。



上郡 なんくるないさーず

写真のコメント
地元上郡では超メジャーな
「なんくるないさーず」
沖縄民謡を中心に子供から
お年寄りまで、ほのぼのと
楽しめる演奏は秀逸。
バンドリーダーの小河氏は
「ひがし蔵」の運営をおこ
なう館長をボランティアで
行っている。



メインゲスト ケーコ・ケーキ (神戸)

写真のコメント
ケーコ・ケーキ
京阪神を中心にホテル、地
域イベント等、年間 80 本
のイベント演奏をこなす。
オリジナル楽曲、洋楽～J
POPSなどの幅広いジ
ャンルを独特なアレンジ
で奏でる。有名ミュージ
シャンとの共演多数。
(活動歴 20 年)

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)



出演者&スタッフ

写真のコメント
出演者、ボランティア、協
力スタッフの面々。やりき
った感あふれる一葉。



会場風景

写真のコメント
地元上郡地区はもとより、
岡山、西播地区からもたく
さんの音楽鑑賞者が来場
されました。



会場 ひがし蔵（上郡）

写真のコメント
西脇家 4代西脇寿一郎に
より大正 11 年に建てられ
た。平成に入り老朽化によ
り解体を余儀なくされた
が、地元、「上郡校区町づ
くりの会」の協力活動もあ
り、現在、酒樽をしのぶ道
具類を展示するとともに、
他の空間をいろんな音楽、
芸術の発表の場として有
効活用されている。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
東備西播 補助金	194,000	1*ポスターデザイン印刷	22,850
寄付金	7,595	2*会場使用料	30,000
		3*ゲスト公演料	30,000
		4*音響機材レンタル一式	105,667
		5*PR用資材	2,590
		6*PR用資材	1,753
		7*会場設営消耗資材一式	8,735
合 計	201,595	合 計	201,595

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	東備西播定住自立圏域史跡探訪会	活動名	史跡探訪会（圏域秦氏関係遺跡と備前播磨国境標石等を訪ね歩く）
-----	-----------------	-----	--------------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 東備西播定住自立圏域 （備前市、上郡町、赤穂市）	② 実施期間 生島 平成29年 5月28日 国境標石等 平成29年11月26日
③ 実施体制	
生島 ・団体構成員 8名	・一般参加者 45名 計 53名
国境標石等 ・団体構成員 4名	・一般参加者 27名 計 31名
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）	
世話人会 7回開催	4/23 事業・行事实施計画作成協議 4/25 7/23 史跡探訪地リストアップ 4/25 10/28 募集・申込要項案協議 5/26 11/23 史跡探訪地資料・冊子版作成
バス会社	10/20 見積依頼 10/26 見積締切・業者決定・発注 10/28 旅程表協議・作成・決定
現地調査 7回	5/10.5/13.5/18 11/3.11/5.11/6.11/10.11/15.11/18.11/23
史跡探訪地資料作成	5/20～5/23 11/3～11/22
募集・申込要項配布	5/10～ 11/10～
申込開始	5/11 11/15
実施日	5/28(10:00～12:00) 11/26(8:00～16:00)
報告書作成	3/25～3/30

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

昨年度「東備西播定住自立圏域史跡探訪会」を結成して、圏域内の旧跡、名所等を訪ね歩く史跡探訪会を企画し開催した。初回の昨年度は「秦氏ゆかりの史跡探訪会」を実施した。

本年度は、昨年雨天のため実施できなかった「圏域秦氏関係遺跡－生島渡航－」と「備前播磨国境標石等を訪ね歩く」の2回実施した。

世話人会は、これまでの研究調査のもとに、事前の現地調査を重ねて、資料を作成した。

資料作成は、地元住民、郷土史家、官司等からの聞き取りして行った。また、史跡探訪会参加者もただ見て歩くだけでなく、地元住民、官司より思いがけない逸話など聞いた。

史跡探訪会は、近くて遠い禁足地である生島への渡航ができ、秦河勝墳墓の前で全員感激に慕っていた。渡航後、坂越防災交流館で、地元有志の交流懇親会を用意されており、大いに親交も深め、その後、「おくとう市（奥藤酒造）」と「渡部美智子創作人形展（旧坂越浦会所）」も見学し、坂越のまち並みを自由散策した。

また、圏域にある国境標石等は全国的に珍しいもので、国境標石3ヶ所、県界標石、明治天皇駐輦跡等6ヶ所、高瀬舟遺跡3ヶ所など、日ごろあまりなじみのない史跡等を学習した。

史跡探訪会は、圏域の誇りとする秦氏関係史跡や国境標石等の普及啓発に努めることができたとともに、圏域住民と情報交換もでき、これら歴史文化遺産（文化資源、地域財産）は、地域おこしにも繋がったことと思う。

② 今後の課題

史跡探訪会の企画は前評判が良く、人気はあるものの天候などに左右されやすく、参加者に少しばかり不満を残した。また、事前の調査・踏査に時間を割きすぎた気配があった。

かつては禁足地でもあった生島への渡航は、参加者全員に感動を与え、有意義であった。しかし、本年度1番の目玉であった取揚島への渡航は、急きょ取り止め（大勢の渡航は事前に海上保安庁への許可）となった。事前の現地踏査において、足場確保などのための草刈り作業も泡と消えた。

史跡探訪地は、名の知れた所だけではなく、あまりなじみのない場所でも実施するため、道路が整備されておらず、道幅が狭いため、大型バスが通行不能の場所が多い。また、探訪地は未開拓の情報不足のため、資料作成に多くの時間を費やした。しかしながら、少しでも多くの参加に希望が沿えるためにも、案内できる世話人の育成・養成が今後の課題である。

最後に、圏域に埋もれた歴史文化遺産である史跡、旧跡などを、史跡探訪会を通じて圏域内の住民に、より一層の情報発信を実施し、普及啓発に努めてまいりたい。歴史文化遺産は、郷土（圏域）の「歴史文化資源」であり、あるいは「地域資源」「地域財産」でもあるので、郷土（圏域）の誇りと愛着を持たせ、郷土愛や望郷心を育み、保存と継承に寄与できるものと確信するものである。

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>あこがれの生島への渡航。</p> <hr/> <p>秦河勝墳墓前の見学状況。</p> <hr/> <p>各人、足と目で確かめ合</p> <hr/> <p>い、秦氏ゆかりに全員大</p> <hr/> <p>感動する。</p> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>国境標石（網崎・恋ヶ浜）。</p> <hr/> <p>標石に刻まれた文字に一</p> <hr/> <p>同感激。何度も繰り返し</p> <hr/> <p>読む。はじめての人が殆ど</p> <hr/> <p>で、大きさにも驚き。</p> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>国境標石（山伏峠）を見学。</p> <hr/> <p>今も県境、市町境。峠が</p> <hr/> <p>人々の往来を、そして</p> <hr/> <p>文化を繋ぐ。往時の想いに</p> <hr/> <p>人々は馳せる。</p> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

(単位 円)

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加費 (生島) @ 100×53人	5,300	*マイクロバス借上料 @ 64,800×2台	*129,600 NO1
(国境標石等) @ 1,000×31人	31,000	*渡船借上料 生島	*20,000 NO2
		取揚島	*20,000 NO2
補助金	197,000	*保険料	*1,440 NO3
		*資料コピー代	*5,500 NO4
寄付金	2,558	*資料郵送代ほか通知	*5,412 NO5
		*探訪地事前調査 ガソリン	*8,324 NO6
		*事務費 パソコンインク	*31,104 NO7
		用紙 他	*12,678 NO8
		*雑費 書籍(参考図書)	*1,800 NO9
合 計	235,858	合 計	*235,858

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	地域文化再発見実行委員会	活動名	渡部美智子創作人形展
-----	--------------	-----	------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 旧坂越浦会所 (赤穂市坂越)	② 実施期間 自 平成29年5月 3日 至 平成29年5月29日
③ 実施体制 ・団体構成員10名 (延べ102名) ・一般参加者 (延べ) 4,683名 ・ボランティア (延べ185名) 名 計4,970名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
実行委員会開催 4回開催	4/7 実施スケジュール案協議 4/12 実施スケジュール案承認決定 4/28 開期中の役割、人員配置協議決定 6/1 反省会
事前協議	4/5.4/29. 人形作家 4/26 後援依頼、会場依頼 4/5 展示資料 (人形作品) 現地確認・協議 4/7 作家展示会場視察・展示計画考察
作品運搬 (業者)	4/26 見積依頼 4/28 見積締切、発注
印刷物 (ポスター・チラシ)	4/6~4/20 デザイン作成・決定 4/25 見積依頼 4/25 見積締切・発注 4/28 納品 4/28~5/22 配布 *会場内では、会期中配布
展示会場準備	4/26~5/2 用品調達・会場準備
展示作品運搬・搬入・展示	5/2
展示・会期	5/3~5/29
(ミュージアムトーク)	5/3~5/29 (講師: 人形作家 渡部美智子先生) 作家自ら展示作品の解説 *作家は、たつの市在住、そして中堅のため、期間中、 初日の水曜日以外毎日、午前・午後の延べ3回以上
展示作品・撤去・搬出・運搬	5/30
実績報告作成	3/25~3/30

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

本年度は『～懐かしの昭和風景～渡部美智子人形展』（16作品、94体）を開催した。

会期は5/3～5/29、実質24日間の開催中、好天気にも恵まれ、そして春の大型連休の超好シーズンもあり、延べ4,683人（大人4,510人、小人173人）の入館者を数え、スタッフはボランティア登録22人（延べ185人）が関わった（1日当たりの入館者数：207人）。ボランティアは、案内・解説のガイドボランティア、介助者ボランティアで参加してくれた。

また、ここ旧坂越浦会所では、入館者一人ひとりに居住地を聞く観光動向調査箇所であり、入館者全員の居住地を調査できた。赤穂市1,817人、上郡町101人、備前市68人ほか、県内28市町、県外東京、福岡など13都道府県、61市町であり、圏域内外との住民交流の促進、まちの賑わい、地域文化の創出にもなった。

人形展は、時代世相色、心豊かな表情、鮮やかな色彩ある作品であり、機械化、核家族化、少子高齢化が常態となった昨今、創作人形を通して、今や忘れ去られようとしている、昔懐かしい昭和の暮らしや子どもの遊び、四季の織りなす原風景、家族愛などを感受してもらったことである。

東備西播定住自立圏域に居住する人々の心（精神文化）を再発掘することができた。また、地域文化の再発見に努め、地域文化の振興・向上に少なからず寄与できたものと確信した。

最後に、作家の実体験に基づく思い出からの作品であったため、作家の意図するところを鑑賞者に、そして後世に伝えることが出来たならその目的に一光を射すことができたことと思う

② 今後の課題

人形展の情報発信は、開催が5月の連休からであったので、日刊紙、地方紙の報道機関も限られた中ではあったが、ミニコミ誌を含め精力的に広範囲に啓蒙普及に努めた。また、ポスター、チラシの配布は、赤穂市内において殆ど至る所に手配り配布し、掲示できたことは救いであった。今回のポストカードの発行配布は、作家渡部美智子先生の長年の知人、ファンなどに周知でき、それらの人からの広まりも無視できないものである。




ただ、開催期間を春の大型連休の好シーズンなどを捉えたことから、補助金内示決定がない中で、ポスターなどの普及手段が公に広範囲にできなかつた。事前の普及活動は、唯々口コミに頼るしかなかつた。

人形展の開催は、赤穂市内を中心に根強い人気となり、入館鑑賞者が倍増しているが、入館鑑賞者のマナーが目立ちすぎる。展示室内では、ボランティアスタッフによる注意喚起の他、注意・禁止事項の張紙をしているものの、写真撮影やタッチさわりが多すぎた。

人形展示は、いずれも人形作家から無償で借入れの善意に成り立っている中、保険もかけず（美術工芸品の作品と査定のため保険が超高額）連日、冷や冷やものであった。加えて、盗難、火災などの心配をすればキリがない。今回の人形展は、作家の実体験に基づく思い出からの作品であったため、作家の意図するところを鑑賞者に、そして後世に伝えることが出来たならその目的に一光を射すことができた。

今回、ボランティアの確保は、好景気が雇用を創出した影響などで少しばかり苦勞した。鑑賞はケース越しに見るのではなく、少しでも近くで作品のきめ細やかさを知ってもらうには、スタッフのより多くの確保が必要不可欠である。

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>人形展会場正面玄関風景。</p> <hr/> <p>昭和の懐かしさが醸し出</p> <hr/> <p>す木造建物の中で、落ち着</p> <hr/> <p>いて、鑑賞でき、多くの</p> <hr/> <p>人々から好評を得た。</p> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>賑う人形展風景。</p> <hr/> <p>展示人形が写実的で、血、</p> <hr/> <p>管やしわなど、それらの</p> <hr/> <p>表情が観てとれ、大いに</p> <hr/> <p>共感を抱いた。</p> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>口コミで日に日に増加。</p> <hr/> <p>親子連れ、3世代、老若</p> <hr/> <p>男女で賑う。会場内では</p> <hr/> <p>実体験を思い出し、長時間</p> <hr/> <p>費やして鑑賞。</p> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
 (ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

(単位 円)

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
補助金	192,000	*作品運送委託料(2t 搬入・搬出(2回) @21,600×2回	43,200* No1
ボランティア保険補助 金(10名)	2,500 NO13	*チラシ印刷(A4) データ有3,000枚	17,000* NO2.3
寄付金	5,069	*ポスターカード印刷 (葉書大両面刷) データ有1,500枚	14,000* NO2.3
		*ポスター印刷(A3) データ有 300枚	13,000*NO2.3
		ポスターカード 発送料	39,052 NO.4
		ポスター・チラシ 発送料	4,116 NO5
		作家現地・展示・撤 去・立合ガソリン	9,771 NO6
		スタッフガソリン	9,294 NO7
		雑費1 展示枠材料外	18,470 NO8
		雑費2のりパネ外	7,387 NO9
		雑費3インク外	11,059 NO10
		雑費4ラミネートフ ィルム外	8,220 NO11
		ボランティア保険料	5,000 NO12
合 計	199,569 /	合 計	199,569*

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂街コン実行委員会	活動名	第6回赤穂街コン!はじめよう恋活!
-----	------------	-----	-------------------

1 事業の実施内容



① 実施場所 (地域) 赤穂市	② 実施期間 自 平成29年 12月10 日 至 平成29年12月10 日
③ 実施体制 ・団体構成員 6 名 ・一般参加者 44 名 ・ボランティア 10名 ・ 名 ・ 名 計 60 名	
③ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 2017年 11月 実行委員会を開催 2017年 11月 ポスターチラシ等作製・配布 チラシ、インターネットでの申し込み開始 12月10日 赤穂市内 コミュニティスペース古民家 tunaguにて 「第6回赤穂街コン!はじめよう恋活!」開催。 具体的な内容 テーブル 椅子・音響セッティング 調理器具等搬入 料理等準備 受付開始 名札を配布 自己紹介、歓談、ゲーム等、告白タイム カップル成立発表 終了 撤収作業	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果
上郡・備前にも広報、男女の出会いの場を提供し今年も多数のカップルができた。
場所が古民家ということで、和やかな雰囲気で行われた。
市内外の若者の交流がもてた。
開催日には、忠臣蔵ウィークも開催。
街コン終了後は、各自で街を散策していただき他のイベントを楽しんでもらえた。
毎年参加している人も今年はカップルになり良かった。
牡蠣などの特産品のPRもできた。

② 今後の課題
住所等確認しないので、参加者がどこからかがわからず
来年度は住所も確認しようと思う。

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>にぎわう参加者</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>かわいく飾り付け</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>写 真 貼 付</p>	<p>写真のコメント</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
支援金	200,000	ポスターチラシ①	67,550*
参加費 (44人)	113,000	印刷製作費*	
25人×3000円		A2 カラーポスター	
19人×2000円		400枚	
実行委員会負担金	651	A4 チラシ	
		5000枚	
		横断幕制作②	13,370*
		会場設営費*③	30,000*
		テーブル・椅子	
		等レンタル・音響リース	
		HPエントリープログラム構築④	10,800*
		会場費⑤	11,000*
		司会等運営費*⑥	37,800*
		イベント保険⑦	5,120*
		消耗品費*	25,011*
		マジック他⑧	
		報償費*	50,000
		(参加者カップル賞	
		@5,000×10組)	
		食材費	63,000
合計	¥313651	合計	¥313651

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	忠臣蔵子ども将棋大会実行委員会	活動名	忠臣蔵子ども将棋大会 および子ども将棋教室の実施
-----	-----------------	-----	--------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市	② 実施期間 自 平成29年 7月 1日 至 平成30年 3月 31日
--------------------	---

③ 実施体制 ・団体構成員 5 名 ・一般参加者 111 名 ・ボランティア 8 名 計 124 名
--

④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)

日程	場所	対象者 (参加人数)	実施内容
6月10日	古民家 tunagu	9人	将棋教室開催 9人 講師2人
7月8日	古民家 tunagu	11人	将棋教室開催 11人 //
8月12日	古民家 tunagu	7人	将棋教室開催 7人 //
9月9日	古民家 tunagu	12人	将棋教室開催 12人 講師3人
10/14	//	10人	将棋教室開催 10人
11/25	古民家 tunagu	32人	将棋大会 32人 講師2人
12月9日	古民家 tunagu	6人	将棋教室開催 6人 //
1月13日	古民家 tunagu	12人	将棋教室開催 12人 //
3月10日	古民家 tunagu	12人	将棋教室開催 12人 講師3人

将棋教室を月に一回開催
11月将棋大会を実施

2 事業実施の成果と今後の課題




① 事業実施の成果

毎月1回 講師とボランティアの方と子どもたちと毎月一回楽しく将棋をさしています。大会では、教室に来ている子たちが上位に入賞し、他の大会でもよい成績をおさめました。また大会も備前や上郡・佐用からも参加もあり、よい大会となりました。塩屋の将棋教室の方や、佐用の将棋教室の野村先生、有段者の講師にも参加してもらい、子どもたちと将棋をさしたり、レベルアップを図ることができた。佐用の将棋教室とも交流が取れ今後も交流を図っていきたい。教室では、他の地区の子どもたちや、また多世代の子どもの交流がもてよかった。将棋を通じて、地域の高齢者が講師としてボランティアに参加していただき、子どもたちと交流し将棋だけでなく、地域の人、子どもたちの居場所としても良い事業となりました。優れた成績をおさめる子どももいて、将来が楽しみです。今後も、子どもたちの育成に力をいれていきたい。

② 今後の課題

大会だけでなく、教室も上郡や備前にも今後広報していきたいと思う。備前や上郡にも広報しているがなかなか広がらない。なにかもっと繋がりができるように「東備西播定住イベント事業」の報告会や交流会などがあればよいのでは。塩屋の将棋教室とも連携を図りもっとボランティアを増やしていき、たくさん子どもたちに対応していきたい。

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>将棋教室</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>将棋大会</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>将棋大会</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A 4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
補助金	197,000	講師謝金 ①	¥ 10,000 /
参加費	11,600	講師宿泊費 ②	5,800
自己資金	3,241	ポスター・チラシ印刷費 ③	¥ 90,000
		事務用品(事務用品、教 材費・文具費・テキ スト代) ④	¥ 76,641
		会場費 ⑤	¥ 24,000
		参加賞(将棋パン) ⑥	5,400 ..
合 計	211,841	合 計	211,841

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂郡陸上競技協会	活動名	上郡駅伝競走小学生大会
-----	-----------	-----	-------------

1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 上郡町スポーツセンター周辺コース	② 実施期間 自 平成 30年1月14日 至 平成 30年1月14日
③ 実施体制 ・団体構成員 10名 ・一般参加者 212名 ・ボランティア 15名 ・ 名 ・ 名 計 237名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） 平成29年9月20日・・・必要物品発注 平成29年12月1日・・・後援名義申請（町教育委員会） 平成29年12月7日・・・大会要項発送 平成29年12月14日・・・道路使用許可申請 平成29年12月23日・・・事前打ち合わせ 平成29年12月30日・・・申込み締切 平成30年1月13日・・・前日準備 平成30年1月14日・・・大会実施	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

開催 10 回目を迎え、大会認知度と併せ、上郡町特産品の『円心モロどん』の認知度も向上し、大会を開催するにあたって必要不可欠な催しとなっている。
大会には全国大会へ参加する選手も参加し競技力の向上や、西脇工業高校の選手と一緒に走れるというモチベーションの向上にもつながり、町内・近隣地域における競技の普及にも寄与できてきたと考える。

② 今後の課題

町内はもとより、上郡町以東よりの参加が増える一方で、定住自立圏域よりの参加が減少傾向にある。
各チームの諸状況などもあるが参加資格の見直しや各市町陸上競技協会内での情報交換などを行い、積極的な参加呼びかけや圏域内交流を図る必要がある。

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>ミニ駅伝スタート</p> <hr/> <p>西脇工業高校の選手に よる先導</p> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>高学年女子中継</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>高学年男子中継</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料添付 (大会結果)

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
大会参加料	88,500	選手配布ゼッケン代*	42,490
モロどん販売(実費)	86,800	大会賞品*	58,866
イベント支援交付金	181,363	大会参加賞*	46,534
		大会プログラム*	17,108
		モロどん(材料代込)	142,500
		謝礼(西脇工業・観光協会)	33,239
		消耗品(ゼッケン印刷用インク*)	14,394
		その他*	1,532
合 計	356,663	合 計	356,663

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	MAZEKOZEAKO実行委員会	活動名	魅力発信！まぜこぜ赤穂マルシェ
-----	------------------	-----	-----------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市	② 実施期間 自 平成 29 年 4 月 25 日 至 平成 30 年 3 月 31 日
③ 実施体制 ・団体構成員 5 名 ・一般参加者 900 名 ・ボランティア 20 名 ・ 名 ・ 名 計 925 名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 実行委員会打ち合わせ等スケジュール別紙添付 2月3日 赤穂特別支援学校にて、赤穂精華園・特別支援学級生徒によるリズムワークショップを開催 (85名参加) サルサガムテープとともにリズムワークショップ 3月3日 前日トークライブイベント開催 塩グルメ4店舗を回りライブを開催 自閉症、発達障害のみならず何らかの障害がある人たちの社会参画と地域交流の場として、飲食店やまちづくり団体などと連携し、食・体験・ワークショップを中心とした新たな取り組み「魅力発信！まぜこぜ赤穂マルシェ」を開催 ＜事業名＞「魅力発信！まぜこぜ赤穂マルシェ」(入場無料) ＜日時＞3月4日(日)＜会場＞赤穂市文化会館11時～16時 ○バケツ太鼓によるリズムワークショップ サルサガムテープ(元ブルーハーツドラマー梶原徹也、かしわ哲を中心としたバリアフリーロックバンド)によるワークショップ。プラスチック製のバケツにガムテープを貼った手作り太鼓で自由なリズムセッション。地元トランポリンパフォーマンスとのコラボ ○マルシェ NPO法人 essence とのコラボ企画。赤穂の名店(さくらぐみ・あこうばんなど)や地域の団体(赤穂塩グルメ倶楽部)や障がい者就労施設によるマルシェ。障がい者の就労体験の場として開催 ボランティアとして関西福祉大学の学生に関わっていただく。	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

障害の有無に関係なく多くの人が集まる機会を創出し、障害者の社会参画、障害者との交流を図ることで、地域生活、住民の理解に繋がったと思う。

マルシェでは、障害のある人たちの就労体験ができた。社会に参画する喜びを得られると共に、音楽や食のプロと接し学ぶことで、「気づき」や「可能性」を感じることができ、将来の夢や希望を抱く機会が持てたと思う。

また社会とのつながりを持つきっかけにもなり、マルシェ参加店舗の方にも、障害についての理解を深めることができた。

2月のリズムワークショップでは、精華園と赤穂小学校の生徒がともに参加。

障害のあるなしに関わらず、音楽を通じて交流し、障害のある子どもたちの音楽を素直に心から楽しむ姿を見て、小学生たちも音楽を楽しむということはどういうことかを学べたように思います。

またマルシェに参加してもらった各店舗の交流の場にもなり、多くの人を楽しめた。

ワークショップも、認知症の理解を深める団体、障がい者施設も参加し

サルサガムテープのリズムワークショップについても、地元のトランポリンパフォーマンスと共演し、子どもたちにとっても貴重な体験となった。

先日のトークライブでは、赤穂の塩の魅力や、義士についてのトークもあり、赤穂の良さをPRできた。塩グルメ倶楽部の店舗を回り、ライブをし赤穂市民みんなが楽しめた。

一年間におよぶ準備期間で、かなりの大規模なイベントになった。



たくさんの方に関わっていただき、本当に大変なイベントではあったが成果も大きかったと思う。また、備前、上郡にもPR（岡山のサイトにも掲載）し、備前上郡からの参加もあり赤穂の良さを知っていただけたと思う。

② 今後の課題

やはり、資金的な問題が大きく、大きなイベントになるほど、資金面で課題は大きい。

来年に向けてこういった形で継続していくかも課題

3 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>赤穂民報に掲載</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>マルシェの様子</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>ワークショップ</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
 (ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
定住自立圏イベント事業	200,000	講師料*①	400,000
兵庫県地域づくり助成	200,000	材料費②	10,800
参加費	36,000	委託費(マルシェ運営)③	100,000
自己資金	110,030	会場費④	32,230
		保険代⑤	3,000
合 計	546,030	合 計	546,030

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	赤穂市テニス協会 備前市テニス協会	活動名	東備西播テニス交流大会
-----	----------------------	-----	-------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 備前市日生運動公園テニスコート	② 実施期間 平成 29 年 7 月 9 日
③ 実施体制 ・団体構成員 11 名 ・一般参加者 54 名 ・ボランティア 約 0 名 ・外部コーチ 3 名 ・見学者 (子供の両親等) 約 20 名 計 約 90 名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 平成 29 年 3 月 20 日 第一回実行委員会 (交付申請に向けた打合せ) 平成 29 年 4 月 23 日 イベント等事業推進支援 審査会出席 平成 29 年 5 月 5 日 第二回実行委員会 (募集要領等打合せ) 平成 29 年 6 月 5 日 大会募集開始 平成 29 年 6 月 20 日 大会募集締切 平成 29 年 6 月 24 日 第三回実行委員会 (当日の役割分担等打合せ) 平成 29 年 7 月 9 日 テニス交流大会実施 実施時間 9~17 時 (内容) ① 午前はテニス教室開催 ② 午後は交流試合開催 平成 29 年 8 月 12 日 第四回実行委員会 (参加者及び収支まとめ)	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

東備西播定住自立圏民間イベント事業として、第二回「東備西播交流テニス大会」を実施した。

本年も赤穂市テニス協会及び備前市テニス協会との共同運営により開催した。

昨年度から、より地域の交流が促進できるように地域在住の方のみに参加者を変更し、外部のテニスコーチを招いたテニス教室を開催後、交流大会としたことから、多くの小中学生が参加してくれるようになった。

また、多くの赤穂市・備前市協会理事にも参画頂いたこと^加で、両市の理事の交流も図ることができた。

新しい試みとしては、賞品を準備し「サーブによる賞品当てイベント」を行い、参加者に好評を得た。

今後も参加者の増加に取り組み、東備西播地域の活性化に取り組んでいきたい。

② 今後の課題

今年度も小中学生の募集に力を入れ、今年はジュニアクラスの参加者が50名以上集まり、大成功であった。

本テニス交流大会は、年1回の開催のみであるので、他の大会とどう連携させてジュニアのテニス人口を増やしていくかを検討していきたい。

3 実施事業の写真

	写真のコメント 開会式
	開会宣言、会長挨拶及 競技ルール等の説明

	写真のコメント 参加者集合写真
	

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A4サイズで5枚以内としてください。)

3 実施事業の写真



写真のコメント

テニス教室風景①



写真のコメント

テニス教室風景②



4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料 500×54組	27,000.-	1*コート代および	
支援金	116,170.-	設備使用料	17,275.-
		2*ボール、賞品代	71,595.-
		3*外部コーチ代	50,000.-
		4*実行委員会会場費	2,000.-
		5*障害保険	2,300.-
		傷	
合 計	143,170.-	合 計	143,170.-

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと

様式第6号(第13条関係)

(添付書類)

イベント等事業実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 円心	活動名	上郡ダンスフェスティバル ~K・D・F~
-----	--------------	-----	-------------------------

1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 上郡町スポーツセンター サブグラウンド (赤穂郡上郡町竹万29)	③ 実施期間 自 平成29年 10月 8日 至 平成29年 10月 8日
④ 実施体制 ・団体構成員 25名 ・一般参加者 2,000名 ・ボランティア 20名 ・ 名 ・ 名 計 2,045名	
⑤ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
○ H29年1月28日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年2月25日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年3月25日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年4月29日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年5月27日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年6月24日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年7月29日(土) 上郡ダンスフェスティバル 会場下見	
○ H29年8月26日(土) 上郡ダンスフェスティバル 事前打合せ	
○ H29年9月30日(土) 上郡ダンスフェスティバル最終打合せ	
○ H29年10月7日(土) 上郡ダンスフェスティバル イベント会場準備	
○ H29年10月8日(日) 上郡ダンスフェスティバル イベント開催 上郡B&Gスポーツセンターサブグラウンド 11:00~20:30	
○ H29年10月21日(土) 上郡ダンスフェスティバル 反省会	
※その他、必要に応じて随時実施した	

2 事業実施の成果と今後の課題

① 事業実施の成果

○メインステージ（ヒップホップダンスステージ（Show Case））

- ・多くの近隣のダンスチームに参加があり、皆様が日頃の成果や楽しさを披露する場を提供することができ、出演者の活動を広める場になりました。ダンスという媒体を通し、踊る方だけでなく見る方たちまでもが楽しくなり輝ける、そんなイベントとなりました。
- ・赤穂・備前・上郡のダンスチームも参加していただき、地域の活性化と各地域の連携・交流の促進ができた。

○ゲストパフォーマンスステージ

- ・いろいろなジャンルの方々に出演いただき、普段目にする事のないパフォーマンスを目の当たりにでき、来場者を満足させることができた。

○泡パーティー

- ・申請時にはなかった内容ですが、最近色々な地域で話題の泡マシーンを使ったイベントが行われており、今回、西播磨初の泡マシーンを導入したイベントを開催しました。子供から大人まで楽しめる企画となり、次回も是非、泡パーティーを開催してほしいとの声もいただいておりますので、次回も継続して行いたいと思っております。

○出店ブース

- ・各地域の特産品活用したご当地グルメを出店する予定となっていたが周辺地域においてイベントが重なり特産品を活用したPRをすることができませんでした。急遽、SNS等で出店者募集を募ったところ問い合わせが数件あり、県外、県内からご参加ご協力していただきイベントを盛り上げることができました。
- また、来場者からイベントの規模は小さいが、出店ブースの種類も多く楽しめたとのことのお言葉もいただい、それなりの集客もできたのではないかと思います。

○花火打揚げ

- ・会場のすぐ隣で花火の打ち上げをおこない、今回は仕掛け花火の種類も変更し、近距離での打揚げを披露したので、来場者の方々に大変満足していただきました。

○事前PR

- ・各種団体のもと発信し、ポスターの掲示とチラシの配布をしました。また、上郡高等学校へも協力頂き、多くの方々に発信することができました。
- ・広報、回覧を活用し、各家庭に発信することができました。
- ・公的施設、スーパー、飲食店、ダンス教室などへポスターの掲示とチラシの配布もしました。
- ・SNSを活用し、広範囲へのイベント告知を配信することができました。

○駐車場

- ・車ででの来場が見込まれたため、駐車場での混乱や車道での事故がないよう、看板設置、誘導等に気配りをしました。

○その他

- ・町内外各地より出演者や観客を上郡に集客することができました。
- ・開催日に関しては、季節的に良いかと思いますが各地域で秋祭りが行われていたため、集客のことを考えると開催時期の検討が必要と感じました。
- ・中学校でダンスが必修であり、今後ダンスや音楽に興味を持つ子が増えると思いますので、さらにこのようなイベントが必要になってくると思います。
- ・イベント中、イベント終了後、来場者の方々がツイッター・フェイスブック・ライン等でイベントの動画や画像などをアップしていただき、様々な評価を確認することができましたので今後のイベントに生かしていきたいとおもいます。

② 今後の課題

○イベント企画当初はダンス参加希望者がたくさんおられたのですが、各地域の秋祭りの関係上、参加が難しい方々がおられ参加人数が減少したことを考慮し、次回開催の際は、時期を考え開催することを検討します。

○PRと集客

- ・イベント開催日を早い段階で決定することにより、さまざまな各所への協力も見込め、さらに広い範囲でのPRに取り組む。
- ・事前のPRとして、ポスター等を早い段階から掲示するなどの努力をしたい。
特にSNS等は積極的に活用していきたい。

○イベントが定着するように、新たに企画を工夫する。

3-1 実施事業の写真



写真のコメント

上郡 B&G スポーツセンターサブグラウンド
イベント開催会場にて

準備



写真のコメント

オープニング
上郡高等学校和太鼓部による和太鼓演奏



写真のコメント

上郡高等学校生徒会ボランティアスタッフ

3-2 実施事業の写真



写真のコメント

ベリーダンス



写真のコメント

泡パーティー
(昼の部)



写真のコメント

Dance Show Case
最年少チーム

3-3 実施事業の写真



写真のコメント

Dance Show Case



写真のコメント



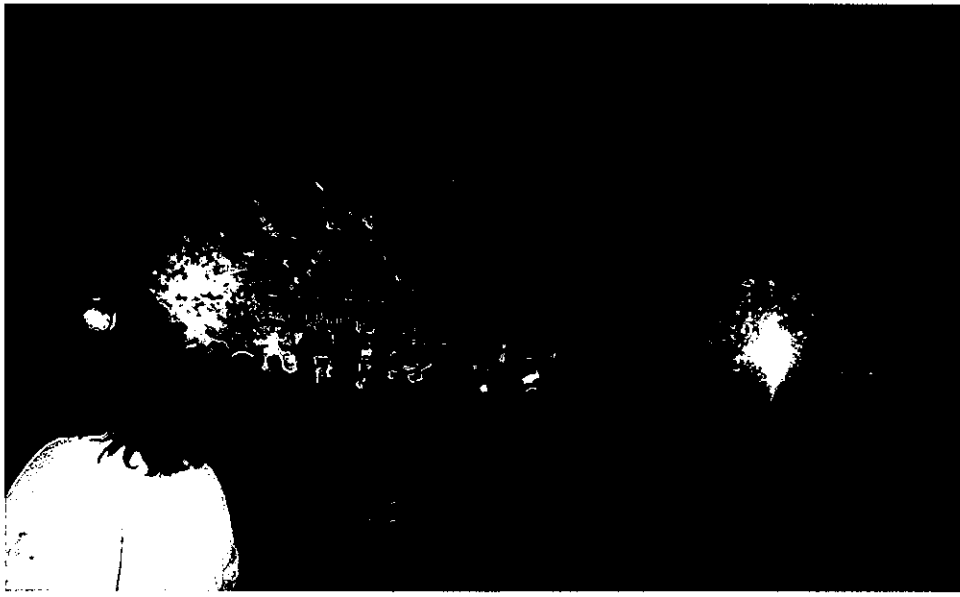
ゲスト
マジシャン
瀧川 一紀
よしもとクリエイティブ エージェンシー所属



写真のコメント

レゲエ
アーティスト
ハマーキー

3-4 実施事業の写真

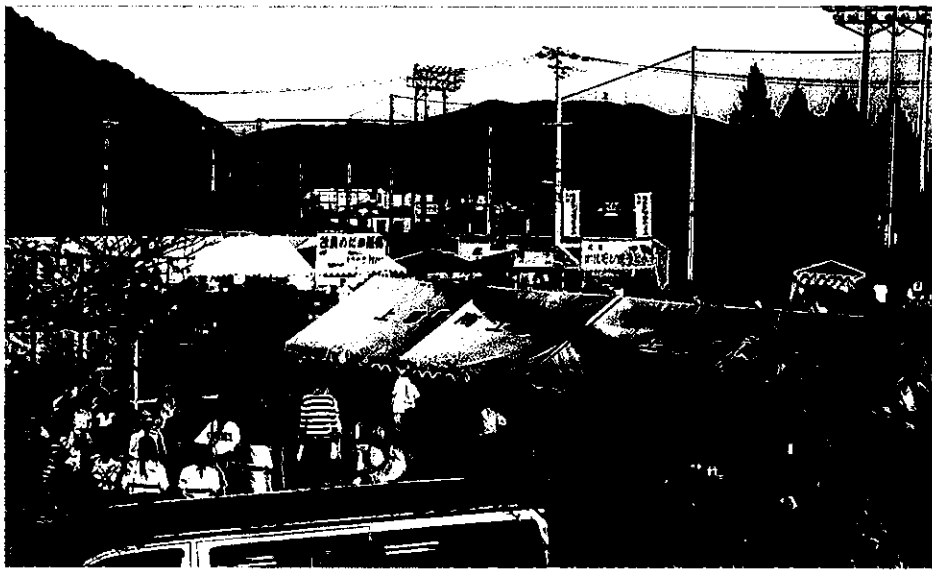
	<p>写真のコメント</p> <p><u>レゲエ</u> <u>アーティスト</u> <u>キリー</u></p>
	<p>写真のコメント</p> <p><u>ジュノンボーイ</u> <u>松本 涼平</u></p>
	<p>写真のコメント</p> <p><u>泡パーティー</u> <u>夜の部</u></p>

3-5 実施事業の写真



写真のコメント

泡パーティー
夜の部



写真のコメント


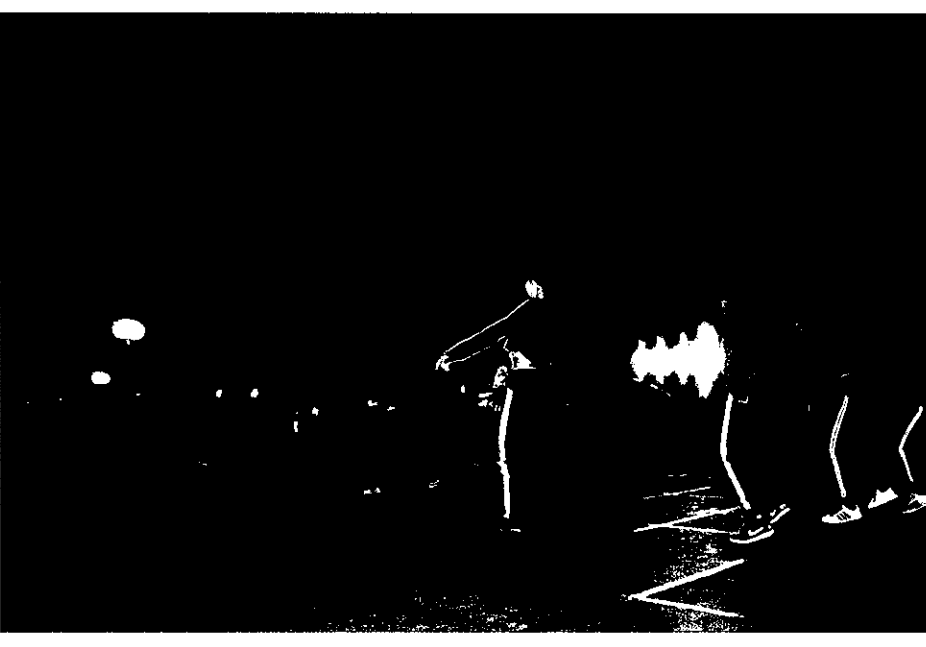

会場全景、
出店ブース



写真のコメント

出店ブース

3-6 実施事業の写真

	<p>写真のコメント</p> <p><u>会場風景</u></p>
	<p>写真のコメント</p> <p><u>Dance Show Case</u></p>
	<p>写真のコメント</p> <p><u>打揚げ花火</u></p>

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
補助金 (定住自立圏)	200,000円	ステージ設営費	
補助金 (上郡町地域おこし)	200,000円	・ステージ・音響 1式	* 50,000円 1
チーム参加費 (@1000円/人)	113,000円	・照明レンタル 1式	* 110,000円 2
出店協賛金	252,000円	会場設営費	
自己資金・寄付金	550,978円	発電機、会場照明レンタル 1式	* 82,476円 3
		泡マシーンレンタル1式	* 173,448円 4
		ゲスト出演料	
		マジシャン	* 108,000円 5
		明石プレイカーズ	* 50,000円 6
		MC	* 20,000円 7
		DJ	* 20,000円 8
		ベリーダンス	* 6,000円 9
		レゲエシンガー	* 50,000円 10
		宣伝広告費	
		チラシA4 10000枚	
		ポスターA3 200枚	
		プログラム冊子 2000部	183,600円 11
		雑費	
		警備員	* 93,906円 12
		花火 1式	360,648円 13
		煙火消費申請料	7,900円 14
合 計	1,315,978円	合 計	1,315,978円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には*を記載のこと